

飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組みについて

【調査の目的】

県では、飼い主のいない猫の過剰繁殖による生活環境被害の軽減及び所有者不明の猫の引取数を減らすことを目的として、平成26年度から地域猫活動支援事業を実施し、地域住民が主体となって市町村が実施する地域猫活動を支援しています。

また、県が引取りした犬猫の新しい飼い主を探すため、動物愛護センターで動物愛護団体と連携して譲渡促進の取組を実施することにより、致死処分数を削減し、人と動物が共生する社会づくりを推進しています。

このため、地域猫活動及び譲渡事業について皆さまのご意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきたいと思えます。

(保健医療介護部生活衛生課)

※地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに地域住民が主体となり、不妊・去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適正に管理する活動。本活動により管理されている猫を地域猫という。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。

※ 現在、県が行っている支援

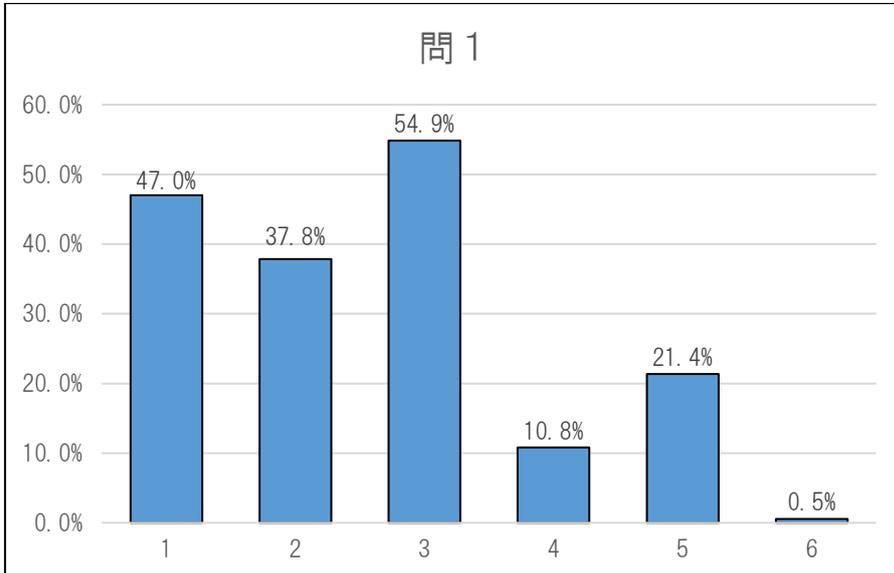
- ・市町村と地域住民とが行う地域猫活動に対する技術的な助言等の支援
- ・不妊去勢手術費用を助成する市町村への補助金交付による支援

問1 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思えますか。

(n=370 選択は2つまで)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない	174	47.0%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う	140	37.8%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する	203	54.9%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる	40	10.8%

5 飼い主のいない猫に対しては、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する	79	21.4%
6 その他	2	0.5%



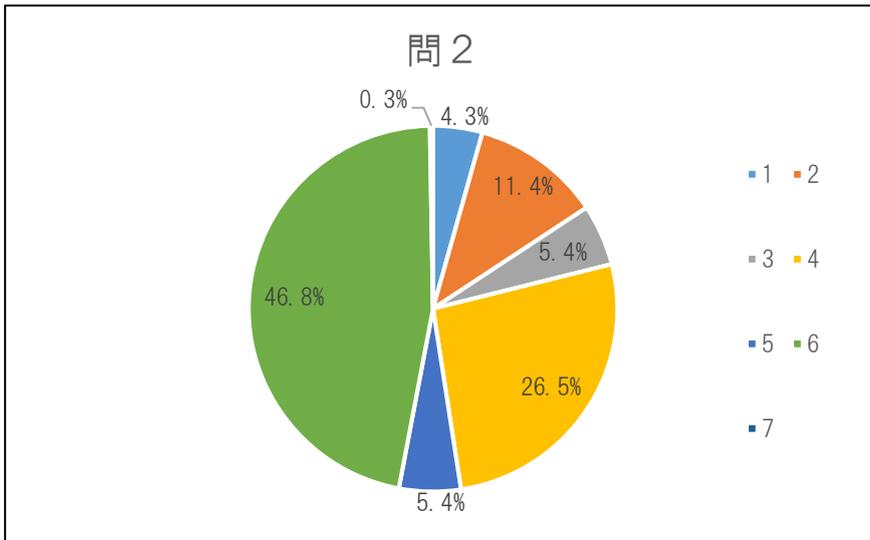
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- 野良猫が多く糞尿の害に困っている 自治体で捕獲等対策して欲しい
- 役所が猫狩りを行い、処分する

問2 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

(n=370 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	16	4.3%
2 地域猫活動は行っているが、県の支援事業は知らなかった	42	11.4%
3 地域猫活動を知っており、県の支援事業も知っていた	20	5.4%
4 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	98	26.5%
5 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	20	5.4%
6 どちらも知らなかった	173	46.8%
7 その他	1	0.3%



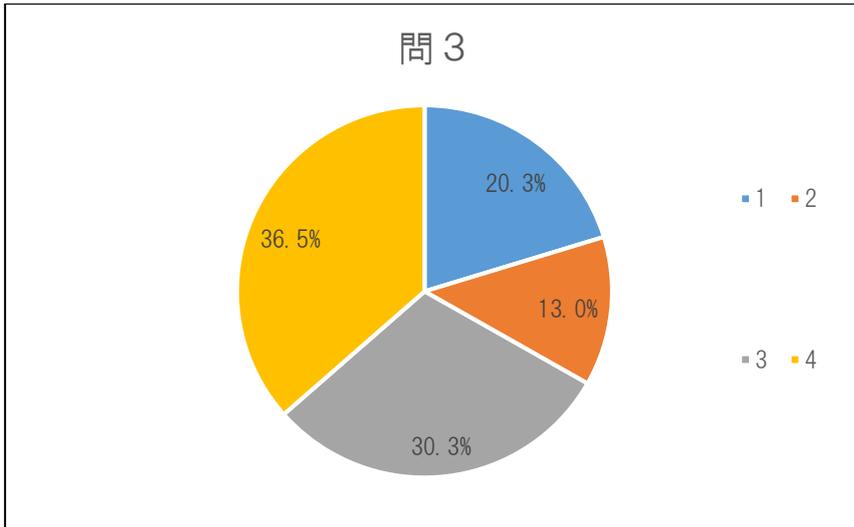
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- ネット等でなんとなく知っていたが具体的にはよくわからなかった。市町村レベルで積極的に案内すると取り組みやすい。窓口があると良い。

問3 あなたは、福岡県動物愛護センター（古賀市）を知っていましたか。また、当センターにおいて、県が引き取りした犬猫の新しい飼い主を探していること（譲渡事業）を知っていましたか。

(n=370 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 施設名を知っており、譲渡事業も知っていた	75	20.3%
2 施設名を聞いたことはあるが、譲渡事業は知らなかった	48	13.0%
3 譲渡事業は知っていたが、実施している施設は知らなかった	112	30.3%
4 施設名も譲渡事業も知らなかった	135	36.5%

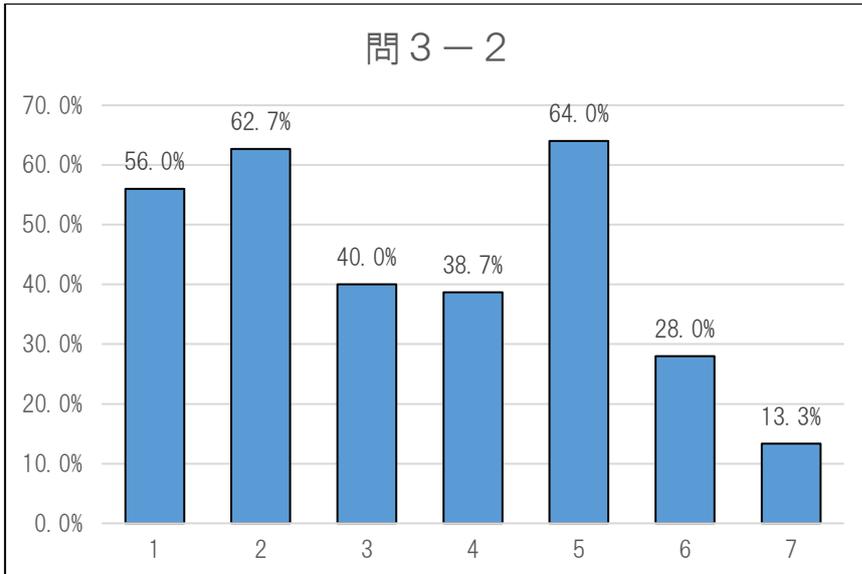


問3-2 (問3で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡について、次のことを知っていますか。

(n=75 選択は複数)

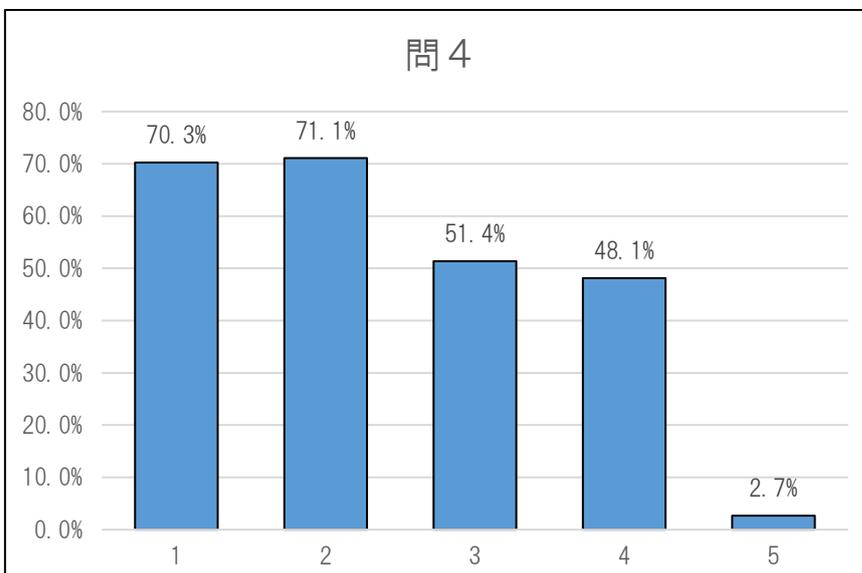
選択肢	回答数	割合
1 譲渡する犬猫は、原則として不妊去勢手術が済んでいる	42	56.0%
2 譲渡する犬猫は、原則として感染症を防ぐための混合ワクチンが接種されている	47	62.7%
3 譲渡する犬猫は、原則としてマイクロチップが挿入されている	30	40.0%
4 犬の譲渡を希望する場合は、事前に講習会を受講する必要がある	29	38.7%
5 犬猫を譲り受けるためには、家族の同意など一定の条件を満たす必要がある	48	64.0%
6 譲渡事業以外にも、譲渡した犬の同窓会、犬のしつけ方教室のほか猫の飼い方教室などを実施している	21	28.0%
7 知っているものはない	10	13.3%



問4 あなたは、福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(n=370 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ホームページやSNSを活用し、動物愛護センター事業の広報を強化する	260	70.3%
2 犬猫を譲り受けるための条件を分かりやすく、ホームページ等に掲載する	263	71.1%
3 新しい飼い主を募集している犬猫の性格や特徴を詳細に説明する	190	51.4%
4 県内各地に出張し、譲渡会を実施する	178	48.1%
5 その他	10	2.7%



[その他]

- センターの方から見て、この子にはこういう飼い主さんが合うんじゃないかな？というのがあれば、それを前面に打ち出すことで、引き取る方も引き取りやすい気がする。
- 譲り受けた人に SNS など近況報告や譲渡へ協力の運動を行ってもらい、飼育費用として謝礼を支払うことで、飼い主の負担軽減、飼い主がまた捨てたり、虐待などの予防になる、譲渡後の現状を知ること譲渡検討者に、安心感も持ってもらえる、広報活動の一環になる
- テレビで情報提供
- 福岡県動物愛護センターをそもそも知らずに、ペットショップでペットを購入する人たちへのアプローチ（現在、TV 番組のおかげで民間・公的機関主催の譲渡会の認知が広がっているようにも思います）
- ペットショップに譲渡によるペットの受け入れという選択肢もあることがわかるポスターを義務付ける。
- 猫の譲渡はしない方が良い。また逃げたり、野良猫になる
- 地域で保護した猫や犬を福岡県動物愛護センターへ引き渡す制度があれば、地域猫などといった制度は必要なくなると思われる。
- テレビなどの影響力はすごいので、犬や猫を飼う時の心構えや、ペットショップではなく保護犬や保護猫の選択肢を持ってもらえるように啓発してほしい
- 野良に対しての去勢、避妊手術費用の助成金の額をあげて欲しい。

問5 飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組について、これまでの設問以外に意見がありますか。

[ご意見（次ページ以降のとおり）]（回答数＝105）

問5のご意見

番号	性別	年代	地区	内容
1	女性	30～39歳	北九州	我が家でも猫を7匹保護しています。これ以上はさすがに無理だと感じています。飼い主がいらない猫達を全て引き取りたい気持ちはおそらく猫飼いの人みんなが思っていると思います。飼うことは出来ないけど、そんな私達でも出来るようなことがないか探していきたいです。
2	女性	60～69歳	北九州	難しいと思う
3	男性	30～39歳	北九州	現実的には難しい話だと思うが、ペットショップでも譲渡会の告知ができるのが理想的だと思っている。購入にしる譲渡にしる、それぞれのメリットデメリットがあるので、それを比較した上でどちらにするのか、選択がしやすい環境になることで、動物を飼う(命を授かる)ことの重要性を重視する飼い主が増えるのではないだろうか。
4	男性	60～69歳	北九州	県が実施している取り組みのことをあまりにも知らないことに気づきました。もっと周知させるために対策すべきだと思います。取り組んでいるだけで県民に知れ渡らなければやっている意味がないと思います。福岡県はそのような施策が多すぎる気がします。県政モニターになり知ることが多く、それは単なる税金の無駄遣いのようにいつも感じています。
5	男性	70歳以上	北九州	飼い主は犬猫が野生化しないように厳重な管理を願う。
6	女性	40～49歳	北九州	譲渡開催日をもっと公に公表するべきだと思う
7	女性	50～59歳	北九州	仙台では鶏を飼っていたがいつも隣の猫に殺されてしまう 猫は人のうちに勝手に侵入するから、放し飼いにすべきではない
8	男性	50～59歳	北九州	動物アレルギーなので参加はできないが、譲渡の取組は拡大してほしい。高額な料金を支払って動物を購入するよりも、譲渡での方法もあることをもっとメジャーにしてほしい。
9	女性	40～49歳	北九州	ペットショップでの犬猫の販売は今後法制度でもってしても減らしていくべきだとおもう。
10	男性	50～59歳	北九州	無責任に放置されている犬猫や無責任や餌付けはいまなお多い。特に後者は餌を与えるだけで犬猫そのものはそのままになっているので、逆に数が増えていき糞害や物損被害が増えて増えている。人をかむ、人に傷を負わせる、感染症を介するなど、人的な被害が出る前に具体的な対処が必要である。できるだけ避けるほうがよいのは当然だが、他に手段がない場合は駆除も必要であろう。
11	女性	50～59歳	北九州	私にも保護犬で飼うようになった犬がいます。とても可愛いマルチーズです。噛み癖があり、家族も全員噛まれています。ただ、今、5年目になりますが、いまでは、室内飼いを許せなかった父までもが溺愛し、いまだに噛まれることもよくありますが、家族の中でなくてはならない存在です。どうかペットショップで安易に命を売するようなことは、少しずつでも無くして行って欲しいと感じています。
12	女性	40～49歳	北九州	以前天神にて保護犬を譲り受け飼育していました。地域の市報などにでも保護犬、猫の譲渡の案内を配布するなどもっと広く案内があればいいと思います。
13	男性	70歳以上	北九州	ネコが引き起こすいろいろな問題は基本的に飼い主の問題であり、責任は重い。社会的に「人の生存」と同じ扱いをする以上、極端かもしれないが、「ネコの生存」に対しても飼い主から税金を徴収し、そのお金で社会的問題の解決を図っていく必要があると考えます。
14	男性	40～49歳	北九州	ショッピングモールで簡単に動物を買うことが出来るが、動物を買う以上、一人一人が命の大切さを肝に銘じて飼育しなければならないと思う。
15	男性	30～39歳	北九州	猫の繁殖の抑制とともに地域理解を同時に進めないといけない

番号	性別	年代	地区	内容
16	女性	30～39歳	北九州	猫の繁殖率は高く地域猫活動や譲渡を加速度的に進めていく必要性を感じる。同時に悪質なブリーダーの取り締まり強化、飼い主のモラルを向上などペット遺棄に繋がらない取り組みを行う必要がある。現在市町村によって地域猫に限定されている避妊去勢手術費補助を福岡市のモデル事業「飼い主のいない猫の避妊去勢手術への助成」を手本に県内全ての市町村で行えないでしょうか？(飼い主がいる場合でも多頭崩壊や高齢者の入院等による置き去りなど保護団体や自治体からの要請を含める)現行の地域猫支援活動や譲渡活動では追いつかず、多くの個人や団体が地域を超えボランティアで保護・譲渡やTNR活動を行なっているが、常に多くの犬や猫を保護しており、もともと人手不足や資金難の問題を抱えていたボランティアが物価高によりさらに活動が困難になっている。また手術して終わりではなくTNR(餌、糞尿の片付け、健康管理、虐待防止、頭数の把握など)その後の管理も継続して行なっていく必要がある。福岡県動物愛護センター以外の各地の愛護センターも活用し、地域のボランティアと連携し保護・避妊去勢手術・譲渡に繋がる数を増やす事が必要だと思う。保護犬・保護猫を迎える事が多くの人々の選択肢に入るように広報を推進していく必要があると考える。継続的な活動の為(餌代、医療費、保護施設の建設や改修、活動実績のあるボランティアへの補助など)用途や収支を明確にし、ふるさと納税や遺贈など寄付を募ることも必要だと考える。ペットの適正な飼育に向けた飼い主への啓発も重要である。飼い猫の完全室内飼育の推奨(虐待、交通事故、感染症、糞尿による近隣トラブル、外での繁殖など防止するため)犬のしつけ、糞尿の処理の徹底。特にペットが高齢になると看護・介護・看取り・費用面の負担が増え、飼い主の介助が絶対に必要となる。介護の実際の様子など動画を作成し、譲渡・販売、迎え入れる形態問わず視聴してもらい、引越しなど環境が変わっても飼い続けられるか事前によく検討を促す必要がある。マイクロチップによる飼い主の把握を行い、違反が認められた場合、動物愛護管理法に基づき警察とも連携し罰則が適切に適用されることも大切である。飼い主に何かあった時に任せられる人や団体を決める、啓発による多頭飼育崩壊の予防、相談できる窓口の常設、高齢化に伴い飼えなくなったペットが取り残されないような仕組み作りも必要だ。
17	女性	40～49歳	北九州	地域猫をよく思わない人もたくさんいるので、取り組みをしっかりと周知させた方がいい
18	男性	50～59歳	北九州	良いことだと思う。
19	男性	30～39歳	北九州	飼い主の飼育環境の確認、収入の確認を徹底する必要があると思う。結局、飼育放棄などが発生すると活動が無駄になってしまうので、その可能性をできるだけ下げようとするべき。
20	男性	18～19歳	北九州	譲渡された動物をぞんざいに扱う者には罰則を、責任を持った飼育を行う譲渡先には不定期にギフト(餌など)を贈るのはどうか。
21	女性	60～69歳	北九州	地域猫活動をしてくださっている人に、助成金を出してほしい。
22	男性	40～49歳	北九州	野良猫が多く糞尿の害に困っている。自治体で捕獲等対策して欲しい。
23	女性	40～49歳	北九州	私は…地域猫活動にあまり賛成が出来ません。(動物の事は好きですが)去勢手術を行ってるから地域で飼ってもよいのですか？近所にも地域猫が何匹かいますが…地域猫たちはエサをやりにくる人の事が分かっているようで、その人が来るとわらわら地域猫たちが集まってきて、そしてごはんをもらって食べてお水飲んでおしっこしてうんちして…その公園で子供たちが遊んで、転んだりもして…はっきりと表現しきれないのですが…30年近く前は公園にたくさんの野良犬がいました。今は1匹もいません。なぜでしょうか？地域犬ということばも聞きません。地域猫も以前の野良犬のようにいなくなる事も可能なのではないでしょうか？
24	男性	20～29歳	北九州	繁殖会社が悪いという認知が広まってきているので継続して活動の展開をしてほしい
25	女性	50～59歳	北九州	そういえば、私の地域では20～30年前に比べて野良猫が少なくなりました。何の活動をされたのでしょうか。
26	女性	60～69歳	北九州	個人的に保護活動している人に補助金などあればいいと思う
27	男性	40～49歳	北九州	動物の問題だけではないと思いますが社会貢献されている方に些細なことでもなるべく県からの表彰を行い、本人の了承をえてホームページ上などで発表することで些細な社会貢献でも認められる県であることを県民全体で理解して自分だけならという意識改革を行うことで飲酒運転や暴力行為などの低下に繋がるのではないのでしょうか？
28	男性	30～39歳	北九州	譲渡会会場へ行ったことがあるが、臭いが気になった。
29	その他	40～49歳	北九州	動物愛護は犬猫だけでしょうか？もし、そうならば、それはなぜですか？私達は命を食べているから、愛護がどういうことなのか良く分からないと自分で思う。かわいそうと思っても命を食べるから。
30	その他	40～49歳	北九州	殺処分されると思えば、可哀想としか言えない。命を軽視しているとしか思えない。
31	男性	40～49歳	北九州	犬猫の譲渡は基本的には反対である。譲渡してもその飼い主が責任もって面倒をみるかわからず、また捨てられる可能性もある。相性がいい悪いも難しいし無償でもらったとなれば、あまり抵抗感なく手放す可能性もあり、さらなる野良犬野良猫が増える原因につながる恐れがある。

番号	性別	年代	地区	内容
32	女性	70歳以上	福岡	猿が出没してけが人もでていますが、捕まえてもSNSで叩かれるから山奥に連れて行って放すしかない。この時、放したものとわかるような印でもつけているのだろうか。食べ残しなどの味を覚えているものは、やっぱり降りてくるのではないのか？たちごっこになるだけのような・・・人に害をなしたらバツサリと処分と方向を決めるべきだと思う。
33	男性	40～49歳	福岡	スマホの時代、もっとマッチングアプリが浸透すれば良いと思います。
34	男性	40～49歳	福岡	本当に里親になりたい方は詳しく独自に調べていると思います。最近のペットはとて高額ですから。
35	女性	60～69歳	福岡	知らない事が多く、もっと福岡県の取り組みを勉強しないといけないと思っています。
36	男性	30～39歳	福岡	地域猫活動の事を初めて知りました。我が家の地域でも屋外猫の糞で悩んでおり近所の方も同じ話になったので徐々にでも解消できるよう地域猫活動を進めてもらいたいです。
37	女性	50～59歳	福岡	心無い人間の為に殺処分される犬猫はなかなかゼロにはなりません。野良猫をはじめ不幸な動物達をなくすにはまず人間がペットに対しては最後まで責任をもって飼育する事。どうしてもそれが難しくなった場合は他の譲渡先やそれを託す施設が必要かと考えます。あと一部の人がペットに対して避妊処理を「可哀想」という理由で行わない人もいます。気持ちはわかるのですが彼等ペットは自然動物ではないのでそこは理解が必要かと思えます。ただ「可愛い」とい理由だけでペットとして迎えるのも危険です。そういう分別も人間側が学ぶべき点かと思えます。
38	男性	60～69歳	福岡	かわいいだけでペットを飼うのは絶対反対である。飼うなら命の尽きるまで責任を持つべきである
39	女性	60～69歳	福岡	以前、捨てられた子犬を子ども達と最後迄飼って家族の様に過ごした。室見川の河川公園で転勤時期には、ウサギ、犬、猫等が捨てられて、とてもかわいそうだった、飼い主には、転勤等で飼えなくなったら、どうか飼い主を探して、転勤して欲しいと思う。
40	男性	60～69歳	福岡	全ての生き物は、地球の宝だと思うころもちは大事な事と思います。
41	女性	60～69歳	福岡	責任の所在をハッキリしてほしい。
42	男性	60～69歳	福岡	飼い主のいない猫に対し、糞害への対策をしっかり行なってほしい。また無闇に餌を与える人に対し、対策を行ってほしい。あまりに無責任だと感じる。
43	女性	40～49歳	福岡	動物とともに生活するとメリットもたくさんあると思います。老人等にもサポートを入れて保護できる環境があると相互に利点があると思います。一時預かりとかでも、地域全体で飼うイメージで一人一人の負担を減らしていけると良い気がします。
44	男性	60～69歳	福岡	ペットを飼っている方は、命あるものですから最後まで面倒をみていただきたいと思えます。「少しくらい」とか「わからなければ」とか自分の事しか考えてない方に飼われるペットがかわいそうです。これ以上飼い主がいない犬や猫を増やさない為にも譲渡事業をアピールして行ければと思います。
45	男性	30～39歳	福岡	テレビ等のメディアで認知を上げていく
46	女性	60～69歳	福岡	正直に言うと、なぜ、地域ぐるみで猫の世話をするのか・・・が分からないです。外に猫がいると怖いので、動物センターで保護していただく等出来るといいのではないかと思います。
47	女性	40～49歳	福岡	私の住んでいる街でも、かわいそうだからと、夜な夜な餌を与えている身勝手な人がいます。そんなときは誰に言えばいいのか、なにかモヤモヤしていました。どんどん猫が増えています。街にもっと看板などでアピールしてほしいです。
48	男性	50～59歳	福岡	野良猫が多すぎて、公園で近くの人がエサやったりするので、砂場にフンが多く、子供を安心して遊べない。
49	男性	70歳以上	福岡	私は犬、ねこがあまり好きでなく、犬、猫が増やするような活動はあまり好ましくないと思う。このように考える人たちもいるのも現実です。犬、猫の命あるものなので、どのようにするのが望ましいかよくわかりません。
50	男性	40～49歳	福岡	猫で有名な島があるかと思えます。島の方々の理解が大前提ですが、そのような場所での譲渡会の実施や、島で犬猫を管理できる手段があれば、管理が容易になるかと思えます。

番号	性別	年代	地区	内容
51	男性	50～59歳	福岡	買っている猫が子供を産み、飼い主が育てきれない場合、誰かに譲り受けてもらうか、野に離すかなどになりますが、福岡県動物愛護センターがそれらの育てることのできない猫を無条件で受け取られる制度があれば、貧乏だけど猫を飼いたい家族にとっては、ペットショップで猫を飼うよりも安く済み、大変喜ばれるのではないかと思う。もちろん、福岡県動物愛護センターの餌代などの経費はかさむであろうが、地域猫などの問題を解決するには良い方法だと思われる。これにより、猫は道路で車にひかれることもなく、餌を探し回ってやせ細ることもなく、病気にかかって早死にすることも避けられるのではないか。高齢者の一人暮らしの方々の中には、動物と一緒に過ごしたいと思われる方も大いにいる。それが猫や犬や鳥になる。住んでいるアパートでは動物は飼えないとなると、やはり近所にいる犬や猫にエサを与えて、仲良くなろうとする。高齢者が認知症などになって一人の生活もままならなくなった後、その犬や猫は、さまようことになる。
52	男性	40～49歳	福岡	県営住宅でペットを飼えるようにする。
53	女性	70歳以上	福岡	野良猫や、保護の問題も重要だが、根本的な問題のペットショップの存在についての議論と対策を考えることをしてほしい。まるでぬいぐるみのように、買うように、店が存在し、アクセサリを選ぶようにペットを品定めをし、おもちゃのように取り扱う人々がいる。諸悪の根源がミックスばかり繁殖させ利潤を追求してるペットショップだ。
54	男性	30～39歳	福岡	ペットビジネスの発達により、飼い主による身勝手な動物の放置が目に見える状態が常態化しているような気がする。自然の生態系を脅かす人類の行為であり、本来なら管理すべきであるが、なかなか管理が難しい。そこでペットにしている動物をポジティブリストを作成し、自然の生態系を脅かす種を省き、自然破壊を最小限に抑えることが重要であると思う。
55	男性	30～39歳	福岡	地域猫活動についてはフンの処理など課題が残っていると思います。課題と解決策を明確に提示しながら取り組みが進むことを願います。
56	女性	60～69歳	福岡	ご自分で後処理やご自身の住まいでの餌やりではなく全く関係のない駐車場や空き土地などで餌を与え自己満足し、猫はもちろんそんな事とはわからないので、いごごちの良い場所と勘違いし車からひかれたり、追いかけて回されたり、罪だと思えます
57	女性	50～59歳	福岡	ペットの飼い主は責任持ってペットの世話をする。
58	男性	60～69歳	福岡	福岡県、および福岡県内の市町村が一つになった動物愛護ネットワークを構築し、県内のどの自治体のホームページからでもアクセスできるようにする。各自自治体独自でまとまった情報になってないのでは。動物愛護センターの活動情報が県内自治体でバラバラのような気がするので、一つになったサイトを作成(運営は県庁)して、情報を発信する。
59	男性	50～59歳	福岡	知らないことが多々あるので、まずは多くの人に知ってもらうように知名度を上げることが重要ではないかと思う。
60	男性	60～69歳	福岡	動物愛護センターの広報を継続的にしてほしい。
61	女性	60～69歳	福岡	犬も猫も苦手で飼った事もないので、よくわからないがボランティア団体に協力してもらって、定期的に譲渡会を開催するくらいしか思いつきません
62	男性	70歳以上	福岡	もう少し県民に広く知らせた方がよい。
63	男性	70歳以上	福岡	譲渡後のフォロー(飼育状況の追跡調査など)
64	男性	60～69歳	福岡	地域の公民館等と連携、連動し保護及び譲渡活動を推進する
65	男性	30～39歳	福岡	譲渡会に来る方々はきちんとされてる方が多いので問題はないですが、時折見かける餌を気軽にあげてしまう方々が問題かと思われます。ペット禁止なのに餌付けをして増やしてしまう人もいたので、飼い主のリテラシーが重要だと思いました。生まれてきた命なので大事にして欲しいので、野良猫等に関しては積極的に保護して飼い主が見つかって欲しいと強く願います。
66	女性	40～49歳	福岡	福岡県の動物殺処分がゼロになることを切に願います。
67	女性	70歳以上	福岡	犬猫を飼った事はないので分からない事が多くありますが、飼い主の責任が大切だと思います。
68	女性	30～39歳	福岡	問4の「県内各地に出張し、譲渡会を実施する」だけは反対です。ただでさえ傷ついた動物たちが怖がらせることはしてほしくないです。恐らくストレスで搬送中などのトラブルも少なくないと思えるので、スタッフさんの負担増になってしまうのではないのでしょうか。同じ労力をかけるなら、飼い主募集中の犬猫の詳細な情報を発信した方が、検討しやすくなると思います。(写真や動画→表情や姿勢から性格が、動画では更に詳しい性格やどんな骨格かが理解できると思います。)
69	女性	20～29歳	福岡	SNSで随時里親募集の犬猫情報を更新する

番号	性別	年代	地区	内容
70	女性	70歳以上	福岡	地域猫の言葉はよくテレビとかで聞いていたが県が力になっているとは。もっと公園や空き地での野良猫に餌をやっている人の管理を徹底してほしい。無闇に餌を与えたら野良猫が増えるばかり。猫好きなひとは可哀想だからと言うけど怪我をしたり病氣らしき猫もいたりで人が通ると餌がもらえるか頼ってきたり捕獲した犬とかも増え過ぎているテレビで見ました。飼う人は最後まで責任を持って欲しい。ペットも登録して責任を持つ事センターや飼育員さんや餌代など全部税金でやってる事だろうから。
71	女性	60～69歳	福岡	地域猫の去勢手術代金を県が全額補助するようにして欲しい 見つけた方が病院に連れていきお金払ってる事聞いて負担が大きいと思いました
72	女性	70歳以上	福岡	飼い主のいない猫に餌をあげている人をよく見かけますが、むやみにあげずに、引き取る方向に方策展開していただければと思います
73	男性	70歳以上	福岡	1. 飼い主のいない猫や犬は、捕獲して殺処分。 2. 動物を、飼う場合、役所への届け出制にして、1回／年確認報告書を役所に報告の義務とする。
74	男性	50～59歳	福岡	物資の寄付に取り組む。 取り組みを支援するために日常生活で不要になった物資フード、毛布などを保護団体に寄付する。 地域で集めた物資を取りまとめて団体に届ける。 職場やコミュニティでの連携を促進する。 職場や地域の団体に活動を紹介をし、協力を得るよう働きかける。 企業やお店が活動のスポンサーになるように提案する。
75	女性	40～49歳	福岡	福岡市内や糟屋郡など地域猫活動に関して、まだまだ認知されていない。 よく「餌付けをしないでください」とチラシがあるが、餓死させようとするから猫は生きるためにご飯をあさってしまう。 去勢避妊のために地域猫活動の人は餌付けして、信頼度を深めてオペにもっていくことがあり、無作為に餌付けしないでとお願いする場合は、「オペをするために」と記載が必要。 (那珂川市の地域猫活動では説明をしっかりとされている)
76	男性	30～39歳	福岡	人間のエゴの被害を少しでも減らして欲しいと感じる
77	女性	50～59歳	福岡	最近、昔に比べて野良猫や野良犬を見かけなくなり、公共の犬猫に関する取り組みが進んだと理解・評価している。
78	女性	18～19歳	福岡	譲り受ける人に資金的な面で支援すると思う。
79	女性	40～49歳	福岡	譲渡会の実施も大変だと思うので、コストや手間、移動による動物の負担軽減のため、【譲渡のお知らせ】は、駅の掲示板、スーパーの掲示板などの目につくところがいいと思う。広く伝えるにはインターネットもいいが、譲渡に関しては掲示板などが目につくと思う。
80	女性	40～49歳	筑豊	犬猫の譲渡に関してはかなり大きな問題だと思っています。先日アメリカ人をお招きし、ペット事情について伺う機会がありました。近所のモール内のペットショップに行きましたが、その価格に驚かれており、アメリカではほとんどの人がシェルターから譲渡されてペットを飼い始めるとおっしゃっていました。 日本でもパンデミック中にペットを飼い始めたが徐々に手放し始めている方々も多く、今日本のシェルターにもたくさんペットがいるようです。聞いた話では、そういったペットは人気ですぐに新しい飼い主が見つかるといいます。一方で殺処分されるペットもいまだに多く、そのギャップはどういったことだろうと疑問に感じます。 ペットを迎える時には、ショップで買うだけでなくシェルターにも行ってみるなど、日本でももっとお迎えの選択肢が増えることを願います。
81	男性	20～29歳	筑豊	動物は好きですが地域でこのような活動をしていることを知りませんでした。いつか猫を飼いたいと思うのでもう少し調べてみたいと思います。
82	男性	60～69歳	筑豊	犬猫の譲渡で県内各地に出張し、譲渡会を実施するのはいいと思うがなかなか大変でしょうね。老犬はなかなか譲渡対象にならない気がする。育てられなくなった犬猫を飼育金をはらって育ててもらえる施設があると安心して飼育でき、また放置犬猫も減るのではないかと。福岡県動物愛護センターが殺処分の場ではなく、犬猫とふれあえるパーク的な場を提供すれば譲渡の機会も増えるのではないかと、また、民間からの負担で飼育管理する、そういう役割を持ってよい。 飼い主のいない猫の過剰繁殖は、どこの地域にもみられる。尾道等のようにそれが1つの観光資源になっているところもある。過剰繁殖が問題の地域では、不妊手術が有効な手段であろうが、高額な費用負担が問題になる。高齢化もあり地域内の関係が希薄になっている現代では、個人補助であってよい。保護猫になると動物愛護センターでの費用もかかる。
83	女性	60～69歳	筑豊	犬は繋いで自由に動けないように決まっているのに猫は(飼い猫含めて)自由に動き回りどこにでも糞をするので困っている。 猫も噛んだり引っかいたりして危ないので規制してほしい。

番号	性別	年代	地区	内容
84	男性	60～69歳	筑豊	やはり譲渡会の回数が多ければ、それだけ人が集まるので効果的だと思います。さらにその会場で情報発信やフリマイベントなどをして楽しいイベントにしたらどうでしょうか。
85	男性	40～49歳	筑豊	我が家にはイヌが2頭います。1頭は熊本県の益城から、もう1頭は大牟田からそれぞれ殺処分危機にあったのを譲渡された保護犬です。ですので犬猫の問題に対しては他人事とは思えません。愛護センターの取組みは必要なことを満たしていると思います。私が問題視しているのはコロナ禍でペットを飼い始めた人の中に犬猫を捨てる人がいるということです。こればかりは飼い主次第になってしまいますので、「責任をもって一生飼い続ける」ことの啓蒙活動をしていくしかないのかな、と考えています。
86	男性	40～49歳	筑豊	テレビ新聞等で取り上げて下さい。ふるさと納税の各市町村から寄附できるようにして下さい。
87	男性	50～59歳	筑豊	以前保護猫活動に参加していました。活動の大変さは理解しています。今からも協力していけることがあれば関わりたいと思っています。
88	男性	40～49歳	筑後	近所の野良猫は、我が家の敷地内で糞をしたり、ゴミを漁ったり、倉庫で寝泊まりしたりして迷惑している。しかも毎年違う猫を見るため、どこかで繁殖していると思われます。動物愛護協会が、望まれずに生まれてくる猫は不幸と解釈するのは人間のエゴだし、人が望んでいようが望んでなからうが、猫は本能で生むわけだから、生命の誕生は自然の摂理だと思います。猫の繁殖力が高いのは、もともと自然環境で生き残る個体が少ないのと、腎臓病が多いため生存期間が短いためだと思います。どこかの大学教授が猫の腎臓病を少なくする研究をされてありますが、そうすればますます猫の個体数は減らないのではないかと思います。また、殺処分状況の統計資料を見ましたが、殺処分が減っているのは、生活環境の変化等によって生息地域が減少しているのが一番の理由であり、保護活動が始まってから急激に減少してはいません。けれども長生きできるように必要以上に人間が手助けしてしまうと逆に個体数が増えていくのではないかと懸念しています。こういうことは自然に任せていくのがいいのではないのでしょうか？
89	男性	70歳以上	筑後	殺処分はできるだけ避けたいが、引き取り手のない動物がある以上、最低限の処分はやむを得ない。
90	男性	40～49歳	筑後	保健所の犬と猫の取り扱いが異なると聞いたので、同一にしてほしい
91	女性	50～59歳	筑後	飼い主のいない猫を近隣の方がよかれと思って餌をあげていることに、現に大変迷惑をこうむっています。飼い猫ではない野良猫の飼い方、野良猫は新しい飼い主を見つけることができるということを周知してほしい。野良猫へのやさしさのつもりが、地域の迷惑の部分もあることを知ってほしい。自分の気持ちだけで野良猫に餌をやることで、近隣は金銭面、精神面でもかなり家族で大変な目にあっていることがわからないようです。トラブルを避けるためにある程度のつきあいをしていますが、やんわり説明して、その方以外のご家族はわかってくださいますが、家族から言われても結局本人はやめることはできないようです。
92	女性	50～59歳	筑後	飼い主のいない猫がいるのですが去勢手術を受けさせたくても、野良猫なので警戒心が強くて捕まえることができません。そのようなときはどうしたらいいのか知りたいです。ぜひ、かわいそうな猫や犬を救っていきたいのでわたしにも出来ることがあれば教えていただきたいです。
93	男性	60～69歳	筑後	譲渡会の拡充はもっともっと広げるべきだと思いますが新しい飼い主にはある程度の責任を負う事をしっかり説明教育する必要があると思います。
94	女性	40～49歳	筑後	外で餌だけやっている人が、子猫が生まれたら殺すのが辛い。避妊手術が誰でも手軽にできるように周知して欲しい
95	女性	70歳以上	筑後	犬・猫の屋外での糞の始末に地域としてこまっています。よい対策はありませんか？
96	男性	50～59歳	筑後	飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組みについては反対の立場である。行政が資金を出してまでやる必要があるのか疑問である。そもそも野良猫・野良犬に関しては衛生上処分が好ましいと考える。また、飼えなくなった犬や猫も飼い主の責任において処分が適切だと考える。
97	女性	40～49歳	筑後	介護施設や放課後デイサービス等で、地域猫や犬等の動物をアニマルセラピーの一環として保護し、飼育してみるのはいかがでしょうかと思います。ご高齢の方や子ども達が動物と触れ合い、心が豊かになったり癒しの機会が得られ、生きる事に張りが出るのではないかと考えます。
98	男性	70歳以上	筑後	野良猫を捕獲保護してくれる団体、仕組みがあると良いと思います。

番号	性別	年代	地区	内容
99	女性	40～49歳	筑後	「自分が高齢だから高齢犬を引き取って最後を看取ってあげたい」と言っていた方を知っていますが、自身の年齢を理由に断られたそうです。再度世話を放棄される可能性を低くするために条件を厳しくするのはわかりますが、なんだか…と思いました。
100	男性	20～29歳	筑後	猫の繁殖量は恐ろしいもので猫が溢れているのはとても感じるが人口減少のいま人は減り、猫は増え、もっと根本的な所を見直した方が良いと思う。
101	男性	40～49歳	筑後	保護犬をTVで育てるような番組があるが反応が良いように思う。 TVが難しいならYouTubeなどで紹介する番組をつくると良いかと思う。 人気のあるインフルエンサーをつかい広めるとよい。
102	男性	50～59歳	筑後	超高齢化に伴う「多死社会」が到来し、飼い主のいないペットはますます増えていくとみられます。そうした未来を想定した場合、愛護センターは県内に複数あったほうが望ましいのではないのでしょうか。理想は福岡、北九州、筑豊、筑後にそれぞれ一つずつですが、予算の関係上そうもいきません。古賀市は福岡都市圏、北九州圏からアクセスしやすいので、将来的に筑後地区にセンターの関連施設(窓口機関)を設けることを提案します。
103	女性	60～69歳	筑後	譲渡の場面にも遭遇した事がありますが、全体的に清潔感がない。 近づけるムードがない。
104	女性	70歳以上	筑後	人間に対して凶暴になっている犬猫に対する矯正機関の充実。
105	女性	70歳以上	筑後	殺処分などの現状を広まりこの取り組みが理解されて、活動の支援や譲渡会の回数が増えたらよいです。